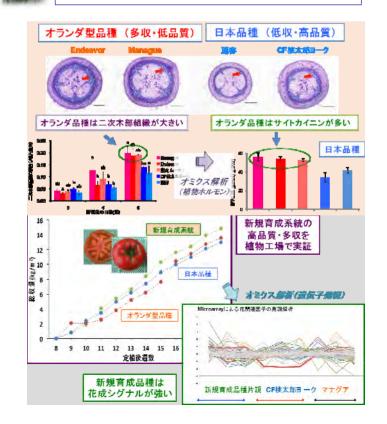
② 植物工場:トマトの生理機構の解明に基づく栽培技術の最適化



生物情報工学的手法によって特定した鍵因子の消長を指標として、 最適な栽培管理条件を効率的に選抜





トマトの体内における生理機構を明らかにし、 その理解に基づいた最適な栽培管理技術を 開発することにより、高品質・高収量トマトの 安定生産を実現

【主な研究成果】

- ○トマト多収要因の解明
- 多収品種の内部組織の特徴と植物ホルモン の動態を解析
- 生産力に直結する植物ホルモンを制御 することにより多収・高品質化に貢献
- 〇 高品質で収量の高い新規系統の評価
- 生理障害^(注)の発生低減技術を開発
- 植物工場での実証試験とそこでの試料を用いた 代謝解析による生理機構の理解
- 花を形成するシグナルと栄養生長の バランスを制御することにより多収化

(注)生理障害:栄養分の過不足等による、葉や果実の変色・萎縮や成長の鈍化 4